

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	石川県	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	いしかわの文化遺産を活かした地域活性化プロジェクト		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>石川県には加賀百万石の歴史に育まれた質の高い伝統文化の集積がある。これは、他県に比べて群を抜くものであり、石川県の個性ともいえるものである。この先人から受け継いだ伝統文化などの文化遺産を活かし、石川の個性ある文化にさらなる磨きをかけ、地域の魅力を高めることにより、北陸新幹線金沢開業後の本県の観光振興・地域活性化を図る。</p> <p>具体的には、「石川県長期構想」（平成8年策定、平成19年改定、平成28年改定）に基づき、「個性と魅力あふれる文化と学術の地域づくり」を重点戦略とする「個性と魅力にあふれる文化の創造と発展」への取組みや「いしかわ文化振興条例」（平成27年制定）をよりどころとする本県の文化振興施策の実施のため、次の事業を実施する。（「石川県長期構想」と「いしかわ文化振興条例」は下記URLに掲載）</p> <p>①能楽他流派競演（平成29年4月～平成29年3月） ②能楽体験会（平成29年4月～平成29年11月） ③民謡・民舞研修会（平成29年4月～平成29年7月） ④石川県ヘリテージマネージャー育成事業（平成27年度～平成31年度）</p> <p>石川県域の文化遺産の保存・活用に関する専門家（ヘリテージマネージャー）を育成するために、講習会を実施する。</p> <p>ヘリテージマネージャー先進地域の指導者及び石川県建築士会、石川県教育委員会文化財課、石川県土木部建築住宅課、金沢市文化スポーツ局歴史都市推進課、公益社団法人金沢職人大学校等と連携して、歴史的建造物や伝統的町並みの保存の専門家、歴史的建造物や伝統的町並みを活かしたまちづくりの専門家を招聘し、講義・演習を実施する。既修了者を対象にスキルアップ講座（講義5日、演習3日 合計32時間）を実施し、ヘリテージマネージャー活動のレベルアップを目指し、講師の育成にもつなげる。「地震時におけるヘリテージマネージャー対応」・「被災時の復旧方法」及び「登録文化財指定登録実務」などの講義を講師を迎えて開催すると共に、「被災建造物の調査」・「被災時における参集・対応訓練」及び「登録文化財指定における調査方法」の各実践演習既存文化財を利用して開催する。地域の歴史的建造物の積極的利活用を目指し、先進地にて実践活動を行う建築士等を講師に迎えたワークショップを行う。価値の発見と継承への意識向上を図る。また、これまでの演習等で発見した「私が見つけた文化財」物件をより調査して「身近な歴史的建造物(仮)」のブックレットを発刊、情報発信し普及を啓発する。</p> <p>講習受講者は25名とし、昨年度までの修了者から募集する。</p> <p>石川県長期構想 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/keikaku/160331.html いしかわ文化振興条例 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/muse/jourei/bunkashinko_jourei.html</p>			
6 実施体制			
<p>石川県が、本実施計画に係る全体の規格・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会文化財課：文化財の取扱等に関する指導・調整等 ・県民文化スポーツ部文化振興課：伝統文化事業等に関する指導・調整等 <p>また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いしかわの伝統文化活性化実行委員会（委員長：鈴木 義博） （「5 実施計画の概要」における①～③の事業を実施） <p>構成団体 石川県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県ヘリテージマネージャー育成事業実行委員会（委員長：照田 繁隆） （「5 実施計画の概要」における④の事業を実施） <p>構成団体（一般社団法人石川県建築士会、石川県、金沢市、公益社団法人金沢職人大学校）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 87,067 千円	平成29年度申請額： 6,210 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

1. 想定される効果

- (1) 伝統文化の継承及び体験事業による裾野の拡大
- (2) 県民の伝統文化継承に対する啓蒙
- (3) 文化遺産の担い手の人数、団体数の維持、増加
- (4) 県内外からの観光客の増加
- (5) 地域の歴史文化遺産の発掘、保全（ヘリテージマネージャー育成事業）

2. 効果の測定方法等

いしかわの伝統文化活性化実行委員会実施事業

(1) 各事業の参加者数の集計

(2) 各事業の参加者、団体への事業内容に関するアンケートの実施

- ・参加者の年齢層、居住地、当該文化遺産への親密度（過去の鑑賞回数）など全体の性質の把握
- ・参加者の事業に対する評価（満足、不満足等）や個別の意見の把握

目標：各事業で実施したアンケート結果において、事業に対する満足度の高い（満足、また参加したい、と回答した）人の割合80%以上。

・能楽他流派競演においては来場者数が300人以上（会場となる石川県立能楽堂：定員400人の内75%以上）、観能の夕べ、能楽体験会の能楽公演については、1公演あたりの平均来場者数が240人以上（会場となる石川県立能楽堂：定員400人のうち60%）。

・能楽体験会の体験会、民謡・民舞研修会については参加者数が募集定員の60%以上。

(3) 文化遺産の担い手の人数、団体数の把握

・加賀宝生の継承保存とその普及振興を目的とする、能楽師で構成された団体である公益社団法人金沢能楽会の会員数

と、金沢市内の三茶屋街にいる金沢芸妓の人数の推移を把握する。

ヘリテージマネージャー育成事業

本講習会を実施することにより、ヘリテージマネージャー講習修了者が、地域の歴史文化遺産を広く発掘し、保全していく活動に関わることができる。

具体的には、登録文化財候補の発掘や調査等の作業、地域の文化財というべき歴史的建造物の分布調査・詳細調査、歴史的建造物を活用した町づくりの参画などがあげられる。

具体的には、登録文化財候補の発掘や調査等の作業、地域の文化財というべき歴史的建造物の分布調査・詳細調査、歴史的建造物を活用した町づくりの参画などがあげられる。

歴史的建造物の保全はもとより、伝統技術の継承、伝統技術を尊重した安全対策の実施が期待される。また、地域住民にその地域資源である歴史的建造物の価値を知ってもらい、利活用を図りながら地域活動が展開されることで地域の新たな魅力の創出が期待される。

これらにより石川県内の文化財保護と活用が大きく進展し、地域の活性化に寄与できると考えられる。

また、大規模災害が発生した場合、被災した歴史的建造物の実態調査や診断、修復等に県内のヘリテージマネージャー講習修了者があたることにより、緊急時の歴史的建造物の保護にも大きな役割を果たすことが出来る。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	特になし
事業概要：	
事業概要：	

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

--	--

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	県民文化スポーツ部文化振興課、教育委員会事務局文化財課
-----------------	-----------------------------

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	兼六園周辺文化施設の年間入場者数			関連事業:	①、②	
目標値 1 :	平成 26 年度 752,541 人 ⇒ 平成 33 年度 790,168 人					
設定根拠 1 :	平成26年度の兼六園周辺文化施設の年間入場者数の約5%増を目指す。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	石川県の文化団体数			関連事業:	③	
目標値 2 :	平成 28 年度 58 団体 ⇒ 平成 33 年度 58 団体					
設定根拠 2 :	会員数の減少、会員の高齢化等から活動を休止・減少させる団体があることを踏まえ、現状維持を設定。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
団体	団体	団体	団体	団体	団体	
目標区分 3 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 3 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	石川県内のヘリテージマネージャー活動者数			関連事業:	④	
目標値 3 :	平成 28 年度 54 件 ⇒ 平成 31 年度 90 件					
設定根拠 3 :	ヘリテージマネージャー講習修了者による活動者数を増加させるため設定。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
件	件	件	件	件	件	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	能楽他流派競演	実施団体：	いしかわの伝統文化活性化実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	日頃、宝生流以外の能楽にふれることの少ない本県で他の流派の能楽の公演を 1 回開催し、地元愛好家や県民が流派の違いを鑑賞する機会を提供する。					
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	出演団体である(公社)金沢能楽会の会員数					
目標値：	平成 28 年度 84 名		⇒ 平成 33 年度 90 名			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
名	名	名	名	名	名	
事業②：	能楽体験会	実施団体：	いしかわの伝統文化活性化実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	10月～11月の期間に、能楽の体験ワークショップと演目の解説を行う事業を実施する。					
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	出演団体である(公社)金沢能楽会の会員数					
目標値：	平成 29 年度 84 名		⇒ 平成 33 年度 90 名			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
名	名	名	名	名	名	
事業③：	民謡・民舞研修会	実施団体：	いしかわの伝統文化活性化実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	7月中旬に1回、民謡愛好家及び一般県民を対象に、民謡歌手等による研修会を開催する。					
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	石川県民謡協会の加盟団体数					
目標値：	平成 28 年度 30 (単位)		⇒ 平成 33 年度 30 (単位)			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
事業④：	石川県ヘリテージマネージャー育成事業	実施団体：	石川県ヘリテージマネージャー育成事業 実行委員会			
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要：	スキルアップ講座を実施し、講師育成につなげる。「地震時におけるヘリテージマネージャー対応」・「被災時の復旧方法」及び「登録文化財指定登録実務」などの講義を開催すると共に、各実践演習既存文化財を利用して開催する。先進地にて実践活動を行う建築士等を講師に迎えたワークショップを行う。「身近歴史的建造物(仮)」のブックレットを発刊、情報発信し普及を啓発する。					
評価指標区分：	・ヘリテージマネージャー育成講座修了者の後年度活動者数	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	石川県内のヘリテージマネージャーの活動者数					
目標値：	平成 28 年度 54 件		⇒ 平成 31 年度 90 件			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
件	件	件	件	件	件	